

総務委員会 基本方針

総務室 総務委員会 委員長 松尾 玖美

1 1956年に誕生した一般社団法人佐賀青年会議所は諸先輩の英知と勇気と情熱ある行
2 動により連綿と受け継がれてきた地域との関係性は決して途絶えることはありません。設
3 立当初からある総務委員会が、これまでの流れを踏襲しより良い佐賀の未来を見据えた運
4 動を展開するには、組織の強固な基盤づくりと円滑な運営による組織力の向上とともに、
5 各委員会との団結力を高め、明るい豊かな社会の実現に向け運動を支援できる組織運営が
6 必要です。

7 まずは、佐賀青年会議所がより良い運動を展開するために、確固たる組織の基盤を創出
8 し、定款・諸規定に基づいた組織運営を行います。そして、より有意義な会議を行うため
9 に、委員会で7・5・3システムに基づいた事前確認作業を行い、議案提出期限を遵守し
10 た事前配信を行います。さらに、各種議論をより効果的に交わすために、適切な会議資料
11 の作成・管理を徹底し、青年会議所運動の根幹である会議の質の向上を図ります。また、
12 正確な記録を残すために、事業構築における意見と対応を明確にし、理事会における議事
13 録を作成致します。そして、これまで諸先輩が紡いでこられた地域への熱き思いを継承す
14 るために、シニア総会への参加呼びかけを積極的に行い、相互の意見交換の促進とともに
15 今後の運動に対する意識醸成を図ります。さらに、佐賀青年会議所が主体となり献血を行
16 うために、若者を中心に幅広い世代の方々に参加を呼びかけ、次世代にもつながる献血運
17 動に寄与します。また、各委員会の展開する事業・運動がよりスムーズに行われるために、
18 円滑な運営と対内に向けた適切且つ迅速な情報共有を行うことで、団結力ある組織運営を
19 目指します。

20 組織の基盤である総務委員会が一丸となり創る組織運営を通して、全メンバーが一体感
21 を持ち心と心が結束することにより、佐賀青年会議所のつながりはより強固なものとなり
22 有機的な連携へと進化し、若者らしい発想とJAYCEEとしての誇りを胸に新しい時代
23 を築きあげます。

[事業計画]

- 24
- 25
- 26 1. 諸会議の設営・運営（通年）
- 27 2. 諸資料の作成・管理・共有（通年）
- 28 3. 総会の設営・運営（1月・8月・10月）
- 29 4. 京都会議・シニア総会への参加者支援（1月）
- 30 5. 献血運動の推進（4月）
- 31 6. 会員拡大 拡大目標 全体40名（通年）